

令和4年度 生命環境学部 食保健学科  
学校推薦型選抜 小論文

【注意】

- 1 机上に受験票を提示しておくこと。
- 2 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- 3 解答は必ず別紙の解答用紙の指定された箇所に記入すること。
- 4 解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入すること。  
受験番号・氏名が記載されていない答案は無効となる場合がある。
- 5 この冊子は、問題（3ページ）および解答用紙（2枚）からなっている。
- 6 この冊子のうち、落丁・乱丁、印刷不鮮明な箇所があれば、手をあげて申し出ること。
- 7 字数制限のある解答では、句読点やカッコ、数字はそれぞれ1字として数えること。
- 8 配点は100点であるが、50点満点に換算する。
- 9 問題冊子は持ち帰ること。

設問 I. 次の英文を読んで、以下の問 1～4 に日本語で答えなさい。(50点)

(著作権の関係で不掲載)

【出典：S.Verguet *et al.*, Nature Medicine 27, 3, 380-387 (2021) 一部改変】

- 問 1 本文に記載されている下線部①の内容を述べなさい。(10点)
- 問 2 下線部①に関して、本文に記載されていない事柄であなたが知っていることを 200 字以内で述べなさい。(10点)
- 問 3 新型コロナウイルス感染症まん延下において、多くの国で下線部②の実現が困難になると考えられる。その理由について述べなさい。(10点)
- 問 4 下線部②を達成するための課題について、あなたの考えを 300 字以内で述べなさい。(20点)

設問Ⅱ. 「平成 28 年国民健康・栄養調査結果の概要」の「喫煙の状況」についての記述より抜粋した文章と図である。以下の問 1～4 に答えなさい。(50 点)

現在習慣的に喫煙している者の割合は 18.3% であり、男女別にみると男性 30.2%、女性 8.2% である。この 10 年間でみると、いずれも有意に減少している。

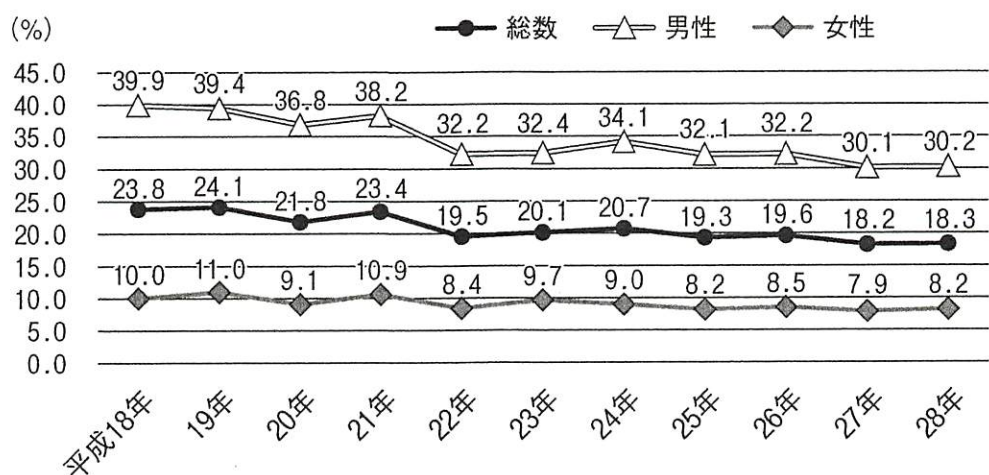


図 1 現在習慣的に喫煙している者の割合の年次推移(20歳以上)

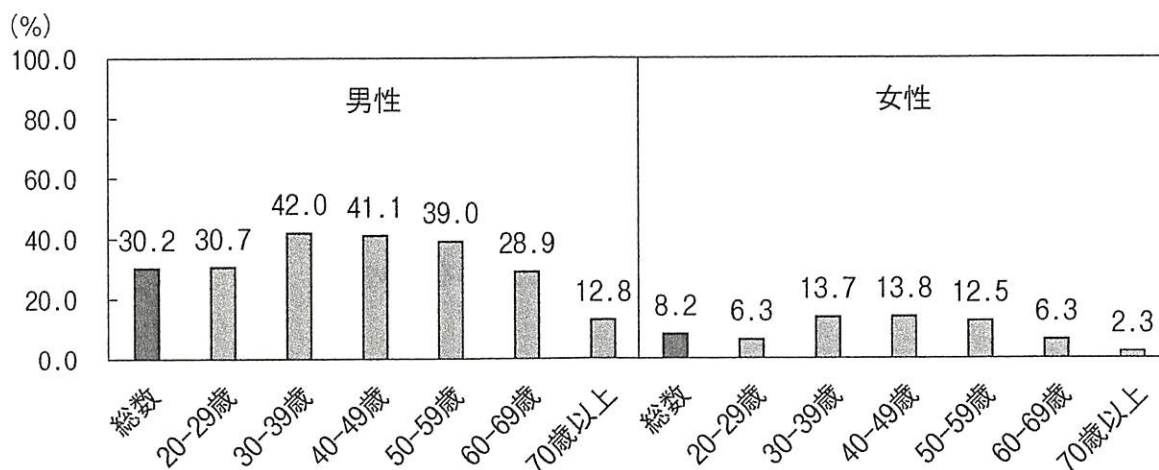


図 2 現在習慣的に喫煙している者の割合(20歳以上, 性・年齢階級別)

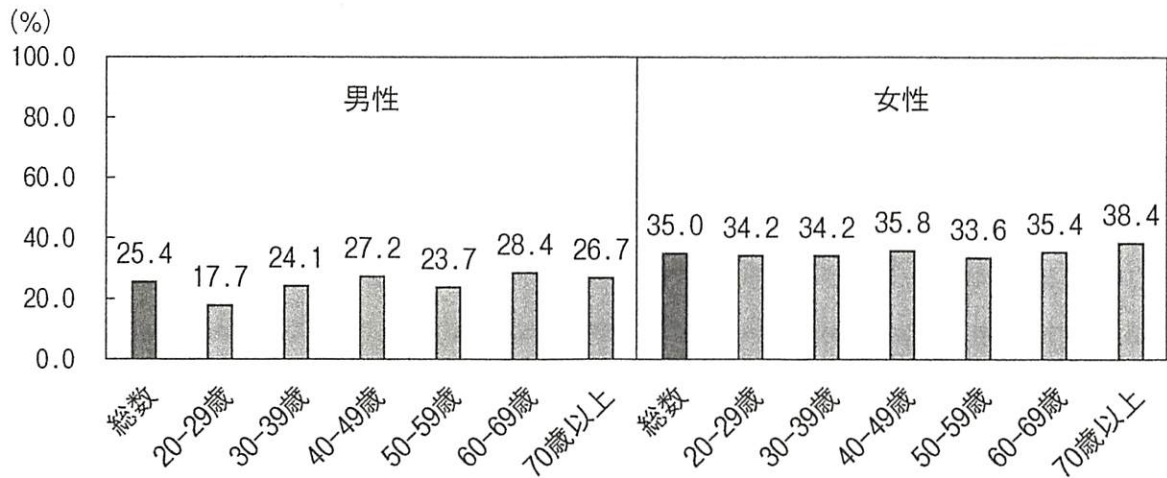


図3 現在習慣的に喫煙している者におけるたばこをやめたいと思う者の割合

【出典：「平成28年国民健康・栄養調査結果の概要」抜粋一部改変】

問1 喫煙習慣は、喫煙者の生活習慣病の発症リスク上昇につながるということが知られている。これ以外で、図1の喫煙率の減少につながったと考えられる要因を4つ挙げなさい。(12点)

問2 「健康日本21(第二次)」では、「喫煙をやめたい人がやめる」ことが目標に含まれている。「たばこをやめたいと思う者」の分布について100字以内で述べなさい。(15点)

問3 2020年春以降、新型コロナウイルス感染対策として人との接触機会を減らすことを目的に、テレワーク・在宅勤務などの推進、飲食店の営業自粛が求められた。このような変化は、人々の喫煙習慣にどのような変化をもたらしたと考えられるか。200字以内で述べなさい。(13点)

問4 喫煙習慣は、生活習慣病の発症リスクを上昇させるが、こうしたリスク上昇に関連するその他の生活習慣を具体的に5つ挙げなさい。(10点)